

工業科スクール・ポリシー

(1) 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ① 高い専門的知識と技能をもった工業技術者を育成し、探究心やあきらめない心をもった人材を育成する。
- ② 一人一人の特性や個性を活かし、目標や目的をもって行動できる人材を育成する。
- ③ 基礎知識の定着をはかり、高度な資格取得へ挑戦する人材を育成する。
- ④ 身につけた専門性を応用し、課題解決ができる人材を育成する。
- ⑤ 協調性やコミュニケーション能力を備えた、次世代の工業界を担う人材を育成する。

(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 外部機関との連携を密に行い、専門的知識・技能を高め、資格や検定に積極に取り組む授業を展開する。
- ② 最新機器を効果的に活用した授業を展開する。
- ③ ICT機器を活用し、自ら調べ、探究できる環境を整えた授業を行う。
- ④ 実践的な実習や専門性の高い授業を通して実践的・体験的な学びを展開する。
- ⑤ 地域と連携した実習により、主体的、対話的な力を養う学びを展開する。

(3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 基本的生活習慣が身につけており、将来進みたい方向へ意識が高く、学びたいことを明確に持っている生徒を募集する。
- ② 何事にも挑戦しようという気持ちが強く、自己実現に向け、努力できる生徒を募集する。
- ③ 自身の意見を持ちながらも、素直な心で他者の意見を聞き入れることができる生徒を募集する。

総合福祉科スクール・ポリシー

(1) 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ① 専門性を高め、高齢化社会を支える医療・介護従事者を育成する。
- ② 思いやりの心をもった人材を育成する。
- ③ 高齢・障害者等のさまざまな課題を専門的に考え、解決しようとする人材を育成する。
- ④ 将来の福祉・医療のリーダーとなる人材を育成する。
- ⑤ 専門的知識を身につけ、国家資格に合格できる知識・技能を備えた人材を育成する。

(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 実習を通し、福祉の現場で多職種と関わり、さまざまな視点からの支援を学ぶ。

- ② 介護教室など、外部や地域との連携により経験を積み、人間性を高める授業を展開する。
- ③ 実習を通じた学習をもとに、実践力を高める学びを展開する。
- ④ 基本的な知識に加え、実践的な専門技術を身につけられる授業を展開する。
- ⑤ 社会のニーズに対応し、時代を生き抜いていける学びを実現する。

(3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 福祉を志し、将来に対する目標意識が明確な生徒を募集する。
- ② 本校の福祉科に興味・関心のある生徒を募集する。
- ③ 人との関わりに関心があり、人のために何かしたいという貢献心のある生徒を募集する。

看護科スクール・ポリシー

(1) 育成をめざす資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

- ① 看護師としてふさわしい倫理観をもった人材を育成する。
- ② 他者と協働でき、社会人としてのスキルを身につけた人材を育成する。
- ③ 専門的な知識・技術を身につけ、豊かな心を持つ人材を育成する。
- ④ 予測困難な時代に適応し、自己研鑽ができる人材を育成する。
- ⑤ 自分の意見を持ち、自ら考えて看護できる人材を育成する。

(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 自ら学ぶ姿勢を身につけ、主体的に問題解決をする能力を育成する教育を展開する。
- ② 専門的な知識の定着を図れるよう、実践的な演習や ICT を活用した授業実践、段階をふんだ授業展開を行う。
- ③ 地域で働く方々と連携し、地域理解や地域貢献の意識を高める授業を展開する。
- ④ 外部や地域で暮らす人々との交流や臨地実習により、人間的な成長を促す。
- ⑤ 真摯に患者に向き合う姿勢と専門的な知識の活用によって、臨機応変に対応し看護を実践する能力を育成する。

(3) 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 何事も一生懸命に取り組み、粘り強く広い視点で物事が考えられ、素直に人の意見に耳を傾けることができる生徒を募集する。
- ② 人に関心を持ち、愛情をもって他者に接することができる生徒を募集する。
- ③ 看護に興味関心があり、学ぼうとする強い意志、困難に立ち向かえる強さを備えた生徒を募集する。